

講義概要/Course Information

科目基礎情報/General Information			
授業科目名 /Course title (Japanese)	大学院技術英語		
英文授業科目名 /Course title (English)	Graduate Technical English		
科目番号 /Code			
開講年度 /Academic year	2022年度	開講年次 /Year offered	全学年
開講学期 /Semester(s) offered	前学期	開講コース・課程 /Faculty offering the course	博士前期課程
授業の方法 /Teaching method	講義	単位数 /Credits	2
科目区分 /Category	大学院実践教育科目		
開講学科・専攻 /Cluster/Department	情報・ネットワーク工学専攻		
担当教員名 /Lecturer(s)	細川 敬祐		
居室 /Office	西2-612（細川：情報通信工学プログラム）, 東1-609(史)		
公開E-Mail /e-mail	keisuke.hosokawa@uec.ac.jp（細川, Hosokawa）		
授業関連Webページ /Course website	なし		
更新日 /Last updated	2022/03/12 11:51:40	更新状況 /Update status	公開中 /now open to public
講義情報/Course Description			
主題および達成目標 /Topic and goals	情報・通信工学分野における専門技術者や研究者として将来活躍するであろう大学院修士学生諸君にとって、技術英語文章の読解・作成能力ならびに英語でのプレゼンテーションスキルの修得は大変重要である。本授業では、特に重要な英文作成能力の向上を中心テーマに据える。国際会議（英語）論文を書けるようになること、および発表ができるようになることを具体的目標とする。		
前もって履修しておくべき科目 /Prerequisites	なし None		
前もって履修しておくことが望ましい科目 /Recommended prerequisites and preparation	なし None		
教科書等 /Course textbooks and materials	参考(Reference) : Robert A. Day and Barbara Gastel, How to Write & Publish a Scientific Paper, 7th Edition, Greenwood		
授業内容とその進め方 /Course outline and weekly schedule	Zoom を利用したリアルタイム形式のオンライン講義を行う。また、レポートの提出のために Google Classroom もしくは Webclass を使用することを想定している。これらに関する情報は、以下の「遠隔授業に関する情報」の欄に記載があるので、確認をすること。 表記の教科書の内容から取捨選択しながら、受講者が科学技術英語論文を書き、それに		

授業内容とその進め方 /Course outline and weekly schedule	関する英語の発表を行うことができるための知識と方法を講義・演習する。英文教科書を原著で読むことで読解力も養われるが、この読解でつまづかないよう翻訳書の利用も可とする。講義演習は具体的には第2回から第10回までの9回と、第11回から第15回の5回に大別される。前半の9回では、学生のこれまでの研究等を素材にして国際会議（英語）論文（2ページアブストラクト程度）を仕上げる目標を設定する。このため3回ずつ3段階の小目標が設定される。後半の5回は前半で仕上げた論文に基づいて3回+2回の2段階の目標を設定しながら、英語発表資料ならびに発表原稿の作成およびそれらに基づく発表を行う。 第1回：ガイダンス (Guidance) (Hosokawa, Adachi, Suzuki, Yagi, Kitsuan, Shi/Topor/Akindele) 第2回：技術者・研究者としての英語, 英語論文の構成, Titleの書き方 (Structure, Title of the Paper) (Adachi) 第3回：Abstractの執筆 (Abstract) (Adachi) 第4回：第3回の課題に関する講評 (Review: Abstract: Research Paper) (Shi/Topor/Akindele, Adachi) 第5回：Introductionの執筆 (1) (Introduction Part 1) (Suzuki) 第6回：Introductionの執筆 (2) (Introduction Part 2) (Suzuki) 第7回：第5回, 第6回の課題に関する講評 (Review: Introduction: Research Paper) (Shi/Topor/Akindele, Suzuki) 第8回：Results, Discussion, References の執筆 (1) (Results, Discussion, References Part 1) (Hosokawa) 第9回：Results, Discussion, References の執筆 (2) (Results, Discussion, References Part 2) (Hosokawa) 第10回：第7回, 第8回の課題に関する講評 (Review: Results, Discuss. & Refs: Research Paper) (Shi/Topor/Akindele, Hosokawa) 第11回：プレゼンテーション・スライド作成指導 (Lecture of Presentation and Slide) (Yagi) 第12回：プレゼンテーション・スライド作成演習 (Exercise of Presentation and Slide) (Yagi) 第13回：作成スライドに関するフィードバック (Review: Present. Slides / Scripts) (Shi/Topor/Akindele, Yagi) 第14回：オーラルプレゼンテーション指導 (Lecture of Oral Presentation) (Kitsuan) 第15回：オーラルプレゼンテーション演習 (Exercise of Oral Presentation) (Kitsuan)
実務経験を活かした 授業内容 (実務経験内容も含む) /Course content utilizing practical experience	
遠隔授業に関する情報 /Distance learning information	以下の Zoom アドレスでリアルタイム講義を行う： https://uec-tokyo.zoom.us/j/97199871427?pwd=amwwdFBqL0VZZFJwQWlvQW5qd0htdz09 また、レポートの提出や資料の配付のために Google Classroom を用いる（クラスコード：w3of75h）：
授業時間外の学習 (予習・復習等) /Preparation and review outside class	課題に取り組むこと。 Make report of each term
成績評価方法 および評価基準 (最低達成評価基準を含む) /Evaluation and grading	3 分の 2 以上の出席と 4 つの課題提出、および口頭発表を行うことを合格の最低基準とする。それぞれの出来により評価がなされる。 Attend two thirds of classes, submission of reports and oral presentation are required to pass.
オフィスアワー：授業相談 /Office hours	情報通信工学プログラムに所属する各担当者が告知する。 Announce in each class
学生へのメッセージ /Message for students	国際競争が激しさを増す中、将来日本の高度情報化社会を担う学生諸君にとって、上記に挙げられた技術英語に関する読み、書き、プレゼンを体験することにより、実践的スキルを身につけてほしい。

その他 /Others	様々な研究分野の教員が担当する講義なので、幅広い視点で受講してほしい。
キーワード /Keyword(s)	技術英語、英作文、英語でのプレゼンテーション Technical English, Writing in English, Presentation in English